

うみだす

ささえる

コーディネート

まなびあう

つたえる

みんなで、地域を、  
デザインしよう。

0

## コーディネート

みんなで地域づくりセンターでは、みなさんが、よりよい地域をつくっていくためのお手伝いをしています。  
地域づくりコーディネーターと一緒に考え、みなさんの取り組みをサポートします。

1

## うみだす

地域づくりにつながる取り組みをプロデュースします

### 四街道こども記者クラブ

記事の書き方やインタビューの仕方を学ぶ「子ども記者育成講座」（全3回）を開催。講座にサポーターとして参加した大学生を中心に継続的な活動について検討し「四街道こども記者クラブ」を立ち上げました。関係機関やスタッフとの調整を担い、活動をサポートしています。こども記者が取材した記事を市政だよりに「こども記者通信」として定期的に掲載するなど、行政との連携も進めています。



### よつグルメ研究会

地域づくりサロン「つくっちゃおう！四街道のご当地グルメ」に参加した市民などを中心に「よつグルメ研究会」を立ち上げ、四街道の開拓の歴史を紐解き「鹿放パン」を復刻。地場の食材を使用した商品の開発を行っています。関係機関との調整を担う中で、東京情報大学との連携により「よつどきくっきい」を商品化するなど、幅広い活動を展開しています。



### チームよつてら

高校生、大学生を中心に子どもの学習支援を行う団体。施設管理者、行政などと協力して事業を実施しています。



### 四街道マップ活用交流会

自然、歴史などのさまざまなジャンルで活動する団体が連携し、魅力あるマップづくりや散策ツアーを実施しています。



## 食を通じた地域づくりのひろがり

### 日替わりシェフの店「さくらそう」

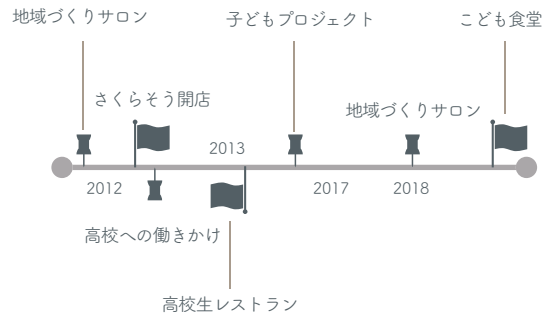
地産地消、居場所づくりなどをテーマに地域づくりサロン「ワンデイシェフの魅力」を開催。興味をもった人たちと、実際の店舗づくりに向け検討。視察、試食会などを重ね、市の補助金を活用し、空き家を活用した店を開店。

### 高校生レストラン

開店した日替わりシェフの店「さくらそう」のシェフは、農家や主婦など。その中に加わった四街道北高校クッキング部。コーディネーターによる働きかけで生まれた「高校生レストラン」は夏休み、冬休みなどに開かれ、地域と高校生をつなぐきっかけとなりました。

### こども食堂

居場所づくりをしたい市民との意見交換や高校との検討などを行い、こどもたちの放課後の居場所となる「こども食堂」の取り組みもスタート。



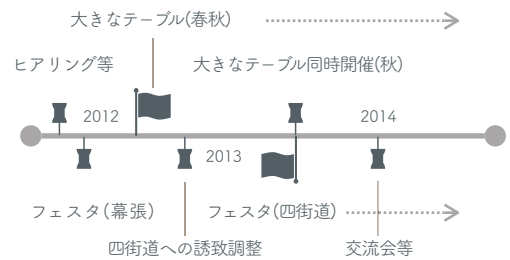
## 農福連携を通じた地域づくりのひろがり

### 福祉施設紹介・販売フェア「大きなテーブル」

福祉施設の活動や商品を多くの人に知ってもらいたい、施設間のつながりづくりを、という願いのもと、センターにある「大きなテーブル」に商品を並べたことから始まったフェア。現在は福祉施設の他、趣旨に賛同した団体、大学などもご当地グルメや農産品の出品などで参加。

### ちばユニバーサル農業フェスタ

「農」を通じて農業者はもちろん、障がい者、高齢者、こどもなど様々な人たちが交流し、働きあえる農業のカタチ「ユニバーサル農業」について発信するためのフェスタ。市内外の福祉施設、農業者、市民団体、小中学校、高校など多くの出展を得て開催。フェスタ内で「大きなテーブル」も同時開催し、農福連携による地域づくりの可能性についても今後検討していきます。



一つひとつの取り組みの背景には、さまざまな人や団体が絡まりあい、たくさんのつながりが次の新たな地域づくりの芽となります。

コーディネートを通して、このようなひろがりある地域づくりをサポートしていきます。

ひとりじゃない。一緒になって考え、チカラを持ち寄って地域づくりの取り組みをささえます

### コラボ塾

市の「みんなで地域づくり事業提案制度（コラボ四街道）」への提案に向け、地域課題の把握やアイデアの共有、申請書の書き方、プレゼンテーションの練習などを行う場。また提案に至らなくても、団体同士のつながりや連携のきっかけになっています。



補助金獲得を目指したプレゼンテーションの練習

### コラボ四街道採択事業サポート

コラボ四街道採択事業について、進捗の確認や相談対応などの伴走支援も行います。予算の使い方、報告書の作成方法など、団体にとって慣れない作業をサポートします。また効果的な情報発信の仕方や関係機関との連携などについても提案していきます。



団体の活動拠点の調整役も担います（よつかいどう和棉ばたけ）

### 新たなプロジェクトへの関わり

地域における市民の声や団体へのヒアリングなどをもとに、市と連携して取り組む新たなプロジェクトについて、関係者との協議や進行管理、相談対応など積極的に関わります。「みんなでつつみこむあたたか地域づくりプロジェクト」、「四街道子どもまちづくりプロジェクト」など、プロジェクト終了後も継続的に関わることで、新たな展開の可能性をひろげていきます。



(左上)ママたちと関係団体が連携したプロジェクト  
(右上)ミーティングなどで調整役なども担います  
(左下)子どもたちと大学生、地域住民と一緒に取り組むプロジェクト

### ささえるために…

地域づくりの取り組みをささえるために、地域の声に丁寧に耳を傾けます。窓口での相談対応はもちろん、講座やサロンでの情報共有、団体へのヒアリングを通じて、地域の課題やアイデアのたねを把握し、地域づくりに生かしていきます。ちょっとした日常での疑問や困りごと、心にもっている思いなど、センターにご相談ください。一緒に考え、さまざまなチカラを持ち寄って地域づくりにつなげていきましょう。

### ソシオ・マネジメント勉強会

「想いはあるのだけど…」 「会議がうまく進まない…」などの市民団体の声を受け、組織マネジメントに関する書籍を読み合い、ワークシートを使い学ぶ勉強会を毎月1回開催。ニーズの把握、ビジョンとミッションの明確化、計画的な事業運営に加えて、事業をわかりやすく伝えることで賛同者を増やすことなど、具体的な運営のスキルを学ぶことで活動がより魅力的になります。



### 広報担当者によるおもしろ広報会議

市民団体などの広報担当者が集まって広報についての情報共有や意見交換を行う場として年に数回開催。「広報担当って孤独」「次号の通信どうしよう」のようにひとりで悩みを抱えている広報担当者が意外と多い現状があります。それぞれが持っている技術的なアドバイスや広報をするにあたっての考え方や狙いなどを、参加者みんなで共有します。飛び入り参加自由な和気あいあいとした会議です。



### 自治会情報交換会

「高齢化」「加入者の減少」「担い手不足」など、自治会が抱えている課題がとても多い中、それを共有する場や意見を交わす場がありませんでした。センターでは「自治会情報交換会」を年2回開催し、各自治会の取り組みについて情報交換したり、他地域の事例発表を聞いたり、自治会の未来について学ぶ講演会を開催したりしながら、課題解決に向けたきっかけの場づくりをしています。



### これまでのまなび

▶地域づくりリーダー養成講座 ▶防災連続講座 ▶子ども記者育成講座 ▶地域づくりサロン「ウォーキングマップ活用交流会」 ▶地域づくりサロン「コミュニティカフェをつくろう」 ▶「恋する豚研究所に学ぶ、まちに恋してまちをもっと素敵に」 ▶広報力UP!地域づくりのためのfacebook活用講座 ▶ボランティア・マネジメント講座 ▶NPO・市民団体のための資金調達セミナー ▶広報講座 ▶ミーティング・ファシリテーション講座 ▶ママのための起業講座 ▶会計講座 など

まなびあうことで、個人や団体の思いが形となり、地域づくりのきっかけとなる新たな活動を行うみだします。市民団体にとって、多面的なまなびは組織運営の力となり、活動をより活発で継続したものに変化させてくれます。

そして、まなびを通じた団体同士の交流により分野を超えた新たなコラボレーションが生まれ、地域づくりの輪がひろがっていきます。

## 情報誌「みんなで」

地域づくりに関する取り組みなどをセンターの視点で紹介する情報誌「みんなで」を発行。自治会への回覧、公共施設、商業施設へ配布しています。紙面を通して地域の「やってみたい」を応援します。（年4回、約4,000部発行）



[これまで取り上げた主なテーマ]

- ▶高齢化社会を支えあって生きていこう
- ▶始めよう！ユニバーサル農業 ▶子どもの未来を考えよう ▶地域をデザインしよう ▶子育てを見守ろう ▶自治会の可能性を考えよう ▶地域づくりのアイデアをかたちにしよう ▶地域にひらかれた高齢者施設を活用しよう ▶まちに出る学校、受け入れる地域



## ウェブ・SNS

イベント・講座の案内、ブログ、団体紹介などをお知らせするウェブページやセンター事業の報告、イベント情報などをタイムリーで紹介するFacebookページなど、地域づくり情報を広く発信します。



センターには、市民団体やNPOのチラシの配架はもちろん、助成金の情報や地域づくりに関する書籍もご用意。情報発信、収集にお役立てください



毎年、夏季休暇期間中にインターシップ生を募集。ブログやInstagramを使った地域づくりに関する情報発信など、主に広報面について一緒に考えながら取り組んでいます

つたえることの第一歩は「理解すること」。理解するために、センターでは、地域の出来事や課題をヒアリングなどを通して丁寧に把握していきます。把握した情報はセンターウェブ、情報誌やFacebookなど必要に応じた媒体を使ってみなさんに届けるとともに、相談対応の充実、講座への展開などにつなげていきます。

ト

ピ

ッ

ク

さまざまな人が地域づくりに関わる取り組みや新たに生まれた取り組みをご紹介します

## 子どもサポートプロジェクト

貧困や孤立、いじめなど子どもに関わる課題が社会で取り上げられていながら「困った子に会えていない」との地域の声を受け、市内の子ども支援の状況調査から支援の在り方まで考えるプロジェクトが始まりました。まずは支援に関わる行政機関へのヒアリングと具体的な実態調査、そこから見えてくる共通項の把握、先行事例の視察を実施。そして、孤立、孤食の中で育つ子が確かにいること、公的な支援があるものの十分ではなく、その制度を補う取り組みが必要ということが改めてわかりました。そこで、「子ども見守りサポーター養成講座」を開催。学校でも家庭でもない第三の場としての地域の役割、「場があることでできる支援」（居場所づくり）と「場がなくてもできる支援」（情報発信）について、様々な立場や年齢のメンバーで具体的な実践につなげていきます。



子ども支援に関わる団体の交流会



具体的なアクションについて議論



地域の「居場所」について意見交換

## 支えあい

四街道では、地域の高齢者などが健康で安心して暮らせる地域を目指した、地域の支えあいの輪をひろげる取り組みが各地域ではじまっています。センターでも地域づくりサロン「みんなでおしゃべりできる『居場所』をつくろう！」を開催するなど、ニーズの把握やネットワークづくり、担い手のサポートを進めています。

## 里山保全

四街道の魅力のひとつである、豊かな自然。しかし後継者不足などにより、荒れた里山や休耕田、休耕地が目立ってきました。大切な自然資源として、地域の力で身近な自然を守り、活用し、次世代につなげていこうとする活動が増えています。センターへの相談がきっかけで生まれた森林活用を通じた居場所づくりの取り組みのサポートなど、守るべき里山について、みなさんとともに考えていきます。



Y・Y・NOWSON

吉岡地区で里山散策、ご当地グルメの提供、収穫体験など、里山の魅力を伝える活動をさまざまな団体と連携して展開しています



やまなし「月見の里」づくりの会

山梨地区で里山の散策路などを整備して、地域の子どものから高齢者までが集える憩いの場づくりを行っています

み ん な の 声

野口 英一さん

(四街道・科学未来からくり倶楽部)

団体の立ち上げのきっかけは、センターが主催した「コラボ塾」に参加したことからでした。それまでも小学校と連携した科学実験教室を行っていましたが、コラボ塾への参加、コラボ四街道の補助金へのエントリーを経て、事業が採択されたことで、多くの学校や団体からお声掛けいただいたり、他の事業との新たな連携につながったり、活動の幅を大きく広げることができました。



加藤 弥生さん

(千葉県立四街道北高校教諭)

地域とつながるきっかけは「さくらそう」出店のお誘いでした。不安もありましたが、センターの協力もあり「高校生レストラン」が実現しました。今では料理だけでなく、飾り付けやおもてなしを工夫するなど、生徒たちの成長を実感しています。その後もセンターの講座に参加することで地域にある課題を知ることができ、今は地域の居場所となる「子ども食堂」のオープンを目指しています。



千田 理子さん

(プレーパークわくわくの森おなりだい)

四街道市に隣接する千葉市若葉区に住んでいますが、広報講座、ソシオ・マネジメント勉強会など多くの講座に参加させてもらっています。他市の活動にも分け隔てなくアドバイスいただける懐の広い四街道のみなさんに勇気づけられました。行政の垣根を越えて、子どもからシニアまで住民同士がつながり合い、助け合えるまちづくりを目指していきたいと思えます。



みんなの想いを毎日発信。みんなでカレンダー



四街道市みんなで地域づくりセンター

(四街道市シティセールス推進課分室)

開館日時 火-金 9:00-20:00 / 土 9:00-17:00

休館日 日・月・祝日・年末年始

所在地 千葉県四街道市大日396 四街道市文化センター1階

Tel.043-304-7065 Fax.043-422-7051

E-mail info@minnade.org Web. http://minnade.org/

Facebook https://facebook.com/yotsukaido.tiikidukuri/

▷2010年9月1日、みんなで地域づくりセンターはオープンしました

